



**個人投資家向け会社説明会**  
2018年 7月29日  
札幌ビューホテル

株式会社G-7ホールディングス  
代表取締役社長 金田 達三

オートボックス・業務スーパーで躍進する

株式会社 **G-7** ホールディングス

<http://www.g-7holdings.co.jp>

東証1部上場 (証券コード7508)



- G-7グループについて
- 2018年3月期通期業績、2019年3月期通期業績予想について
- 海外展開戦略について
- 中期経営計画について
- スポンサーード活動について
  
- お問い合わせ先

## ■ G-7グループについて

会社名	株式会社G-7ホールディングス (G-7HOLDINGS INC.)
設立	1976年 (昭和51年) 6月18日
資本金	17億8570万円
従業員数 (連結)	5,126名 (2018年3月末現在)
株式	東証1部上場 (証券コード : 7508)
時価総額	383億円 (2018年6月末終値)
代表者	かねだ たつみ 代表取締役社長 金田 達三
本社	神戸市須磨区弥栄台3丁目1-6 TEL : 078-797-7700 FAX : 078-797-7710
事業内容	オートバックス、業務スーパーなどの事業を行うグループ会社の 経営戦略・管理・運営等をおこなう持株会社



## 会社沿革 1975～2005

株式会社 G-7 ホールディングス

1975年6月 現取締役名誉会長 木下守が「株式会社エムケー商会」を設立。

1975年10月 加古川セブンボール駐車場に「オートセブン加古川店」を開店。



1976年7月 3店舗目をオートボックス大久保店をFC1号店として開店。以降、他店舗展開を図る。

1985年6月 創業10周年。加古川市に本社ビルが完成。売上高26億円、経常利益0.7億円、11拠点。



1995年4月 商号を「株式会社オートセブン」に変更。

1995年6月 創業20周年。売上高174億円、経常利益11億円。35拠点。

1996年8月 大阪証券取引所市場第二部に株式を上場



2000年3月 本社を神戸市須磨区に移転。



9月 千葉県に連結子会社「キノシタオート株式会社」設立。

2001年5月 東京証券取引所市場第二部に株式を上場

2002年4月 子会社株式会社サンセブンを設立、株式会社神戸物産とFC契約を締結し「業務スーパー」事業を展開

2005年6月 創業30周年。売上高542億円、経常利益15億円、123拠点。

9月 東京証券取引所・大阪証券取引所市場第一部に指定



2006年4月 G-7グループ各事業会社を支配・管理する持株会社の「株式会社G-7ホールディングス」に組織・商号変更

2009年12月 M&Aにより農産物直売所「めぐみの郷」を店舗展開する(株)めぐみのさとを買収。アグリ事業に参入

2011年3月 シンガポールに東南アジアの子会社を統括するG7インターナショナルを設立。海外事業展開開始

2012年4月 マレーシアにオートボックス1号店を開店

10月 M&Aにより高級冷凍食品の製造・卸を行う(株)コールドファミリーを買収

12月 グループ会社の社名変更を実施

2014年1月 G-7食品システム（現 株式会社G 7 ジャパンフードサービス）が上野食品を吸収合併

2015年6月 株式会社テラバヤシの株式取得し、連結子会社とする。

10月 第1号店のオープンより、創業40周年を迎える



2016年6月 創業40周年記念式典・祝賀会を開催。売上高1,039億円、経常利益32億円、407拠点。

2016年8月 G-7グループ創業者記念館完成。

2017年5月 川瀬食品株式会社、株式会社Crown Tradingの株式取得し子会社化

11月 株式会社G-7オート・サービスが(株)オートプラスよりオートボックス2店舗を譲受





### G (ジー)

「G」という総称は、わたしたちが目標とする「企業集団」をあらわす姿。

国内外へ「グローバル」に成長する、「ガッツ」あふれる、活力に満ちる「グループ」を意味します。

### 7 (セブン)

社名の「7 (セブン)」は、創業地への敬意や幸運の象徴です。

創業者 木下 守が、1975年に兵庫県加古川市の「セブンボール」という名のボーリング場の駐車場で、カー用品の販売を開始。土地をお借りしたボーリング場の「セブンボール」と「ラッキーセブン」にあやかりました。

わたしたちの「原点」を標(しる)す数字です。

ロゴマークで表現したのは

「芽生え」と「息吹」です。「G」と「7」を組み合わせたデザインは、植物から種子が芽を出した姿。

「青」は、日本を囲む海の色。海を飛び越え、グローバルに活躍できる企業を

「赤」は、情熱の色。ガッツに満ちる、企業集団を意味しています。



創業者 名誉会長  
木下 守

# 今期目標 1,300 億円



オートバックス  
・  
車関連事業



業務スーパー  
・  
こだわり食品事業

その他事業

**G-7グループは  
「オートバックス」と「業務スーパー」  
を核に、全国に躍進する  
メガフランチャイジーです**



フランチャイズとは、事業者（「フランチャイザー」と呼ぶ）が他の事業者（「フランチャイジー」と呼ぶ）との間に契約を結び、自己の商標、サービスマーク、トレード・ネームその他の営業の象徴となる標識、および経営のノウハウを用いて、同一のイメージのもとに商品の販売その他の事業を行う権利を与え、一方、フランチャイジーはその見返りとして一定の対価を支払い、事業に必要な資金を投下してフランチャイザーの指導および援助のもとに事業を行う両者の継続的関係をいう。

(一社) 日本フランチャイズチェーン協会

(2018年6月27日掲載 日経MJ小売業売上ランキングより)

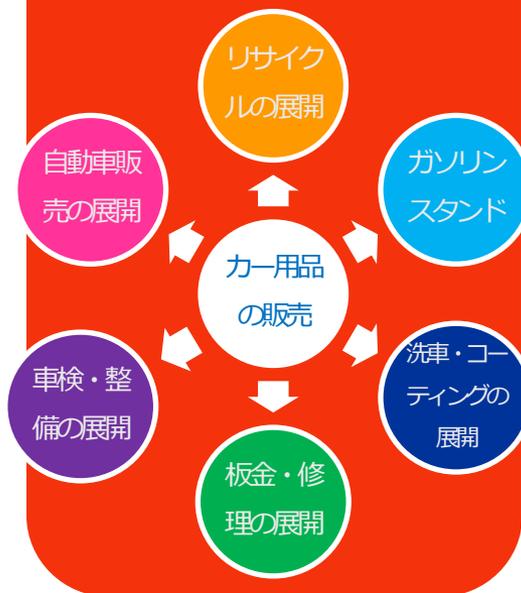
小売全体の順位	社名	売上高(百万円)	経常利益 (百万円)
1位	イオン	8,390,012	213,772
2位	セブン&アイ・ホールディングス	6,037,815	390,746
3位	ファーストリテイリング	1,861,917	193,398
			
57位	神戸物産 (連結) (業務スーパー本部)	251,503	15,778
70位	オートバックスセブン (連結) (オートバックス本部)	211,630	8,226
91位	イエローハット (連結) (カー用品チェーン)	137,865	10,689
<b>102位</b>	<b>G-7ホールディングス (連結)</b>	<b>119,816</b>	<b>4,568</b>
<b>176位</b>	<b>G-7スーパーマート</b>	<b>60,204</b>	<b>2,312</b>
198位	オーシャンシステム (連結) (業務スーパー加盟店)	49,952	992
254位	アイエーグループ (連結) (オートバックス加盟店)	32,822	1,013
<b>263位</b>	<b>G-7・オート・サービス</b>	<b>32,108</b>	<b>1,684</b>
476位	バッファロー (オートバックス加盟店)	8,717	402

調査方法：小売業を営む店舗を持つ企業1547社が対象。総売上高が上位500位以内の企業をランキング。

【運営子会社】

「オートボックス」のフランチャイズ事業が主力  
 <G-7グループの主力事業>

## G-7オートサービス



- オートボックス
  - エクスプレス（ガソリンスタンド）等の運営
- 売上高構成比  
**セグメントの約9割**



オートボックスエクスプレス



カーズ車販売



モータウン土山サーキット



クリスタルセブン  
 (洗車・コーティング)



板金集中センター

## G-7バイクワールド

- バイクラ이프の総合専門店
- バイクワールドの運営



## 他

- 海外の車関連事業

【運営子会社】

「業務スーパー」のフランチャイズ事業が主力  
＜G-7グループの主力事業＞



「業務スーパー」

G-7  
スーパーマート

- 業務スーパー等の運営
- 売上高構成比  
**セグメントの約8割**

G7  
ジャパンフード  
サービス

- こだわり食品の卸売り
- プライベートブランド  
(P B)商品の開発・販売等



P B 商品

こだわり食品

こだわり **厳選** 食品館

こだわり厳選食品館

G-7  
ミートテラバヤシ

- 精肉の加工・販売事業



「テラバヤシ」

【運営子会社】

「めぐみの郷」「良品買館」「カーブス」、レストラン事業、コインランドリー事業、不動産事業などを展開

リサイクルショップ「メガリサイクル王国」

## G7 リテールジャパン

- 「G-7モール」など不動産賃貸事業
- 「良品買館」などリユース事業・健康体操教室「カーブス」
- ゴルフスクール「ステップゴルフ」などリテール事業



G-7モールなど  
不動産の賃貸事業



健康体操教室「カーブス」

## G7 アグリジャパン

- 農産物直売所「めぐみの郷」の運営等アグリ事業
- 食べ放題レストラン「めぐみのさと」の運営



チーズタルト「BAKE」

## G7ジャパン フードサービス

- お好み焼き「七つの壺」等レストラン事業
- 「BAKE」、「ザクザク」等のスイーツ事業

## G-7 オート・サービス

- コインランドリー事業「マンマチャオ」
- たい焼き専門店「やまや本舗」



2018年6月30日現在



ストアネットワーク

425  
店舗 (計)



## 北海道地方

「業務スーパー」	8店舗
「テラバヤシ」	8店舗

## 東北地方

「テラバヤシ」	1店舗
---------	-----

## 関東地方

「オートボックス」	12店舗
「オートボックスエクスプレス」	2店舗
「BPセンター」	1店舗
「クリスタルセブン」	2店舗
「タイヤ専門館」	1店舗
「業務スーパー」	57店舗
「テラバヤシ」	48店舗
「バイクワールド」	3店舗
「めぐみの郷」	1店舗
「良品買館」	1店舗
「Green's K」	1店舗
「Green's K 鉄板ビュッフェ」	1店舗
「カーブス」	18店舗
「ステップゴルフ」	3店舗
「Zクロッカンスシューザクザク」	1店舗
「コインランドリー マンマチャオ」	1店舗

## 中部地方

「オートボックス」	7店舗
「BPセンター」	1店舗
「業務スーパー」	34店舗
「テラバヤシ」	22店舗

## 中部地方

「バイクワールド」	2店舗
「ダイソー」	1店舗
「リユース王国」	1店舗
「コインランドリー マンマチャオ」	1店舗

## 近畿地方

「オートボックス」	38店舗
「スーパーオートボックス」	2店舗
「オートボックスエクスプレス」	4店舗
「オートボックスセコハン市場」	1店舗
「クリスタルセブン」	4店舗
「BPセンター」	4店舗
「大阪スズキカーズ」	1店舗
「土山サーキット」	1店舗
「バイクワールド」	5店舗
「業務スーパー」	32店舗
「テラバヤシ」	20店舗
「Green's K」	1店舗
「Green's K 鉄板ビュッフェ」	1店舗
「リユース王国」	2店舗
「めぐみの郷」	21店舗
「激安スーパーめぐみのさと」	3店舗
「神戸粉もん七つの壺」	1店舗
「食べ放題レストランめぐみの郷」	1店舗
「いきなりステーキ」	1店舗
「BAKE」	3店舗
「RINGO」	1店舗
「クロッカンスシューザクザク」	1店舗

## 近畿地方

「コインランドリー マンマチャオ」	3店舗
「たい焼き専門店やまや本舗」	4店舗

## 中国地方

「オートボックス」	7店舗
「オートボックスエクスプレス」	1店舗
「オートボックスセコハン市場」	1店舗
「クリスタルセブン」	1店舗
「BPセンター」	1店舗
「メガリサイクル王国」	1店舗
「良品買館」	1店舗
「ダイソー」	1店舗
「バイクワールド」	1店舗
「テラバヤシ」	5店舗

## 九州地方

「業務スーパー」	5店舗
「バイクワールド」	1店舗

## マレーシア

「オートボックス」	2店舗
「バイクワールド」	2店舗

## タイ

「バイクワールド」	1店舗
-----------	-----

## 台湾

「串かつだるま」	1店舗
----------	-----

## ミャンマー

ピンウーリン農場	
----------	--

2018年6月30日現在 17

# 16

店舗

## 業務スーパー・テラバヤシ

※テラバヤシは業務スーパー内にテナントとして入居

月寒西店	札幌市豊平区月寒西2条10丁目2番40号	011-859-7020
上野幌店	札幌市厚別区上野幌3条2丁目913番35号	011-801-7676
八軒店	札幌市西区八軒3条西3丁目2番5号	011-640-7151
千歳店	千歳市北信濃783番1	0123-40-7772
恵庭店	恵庭市中島町6丁目7番地4	0123-39-3777
月寒東店	札幌市豊平区月寒東3条17丁目1番27	011-858-7730
清田店	札幌市清田区清田2条3丁目6-20	011-888-7771
厚別西店	札幌市厚別区厚別西4条3丁目1067-68	011-890-7712

2018年6月30日現在 18

■ 2018年3月期通期業績、  
2019年3月期通期業績予想について

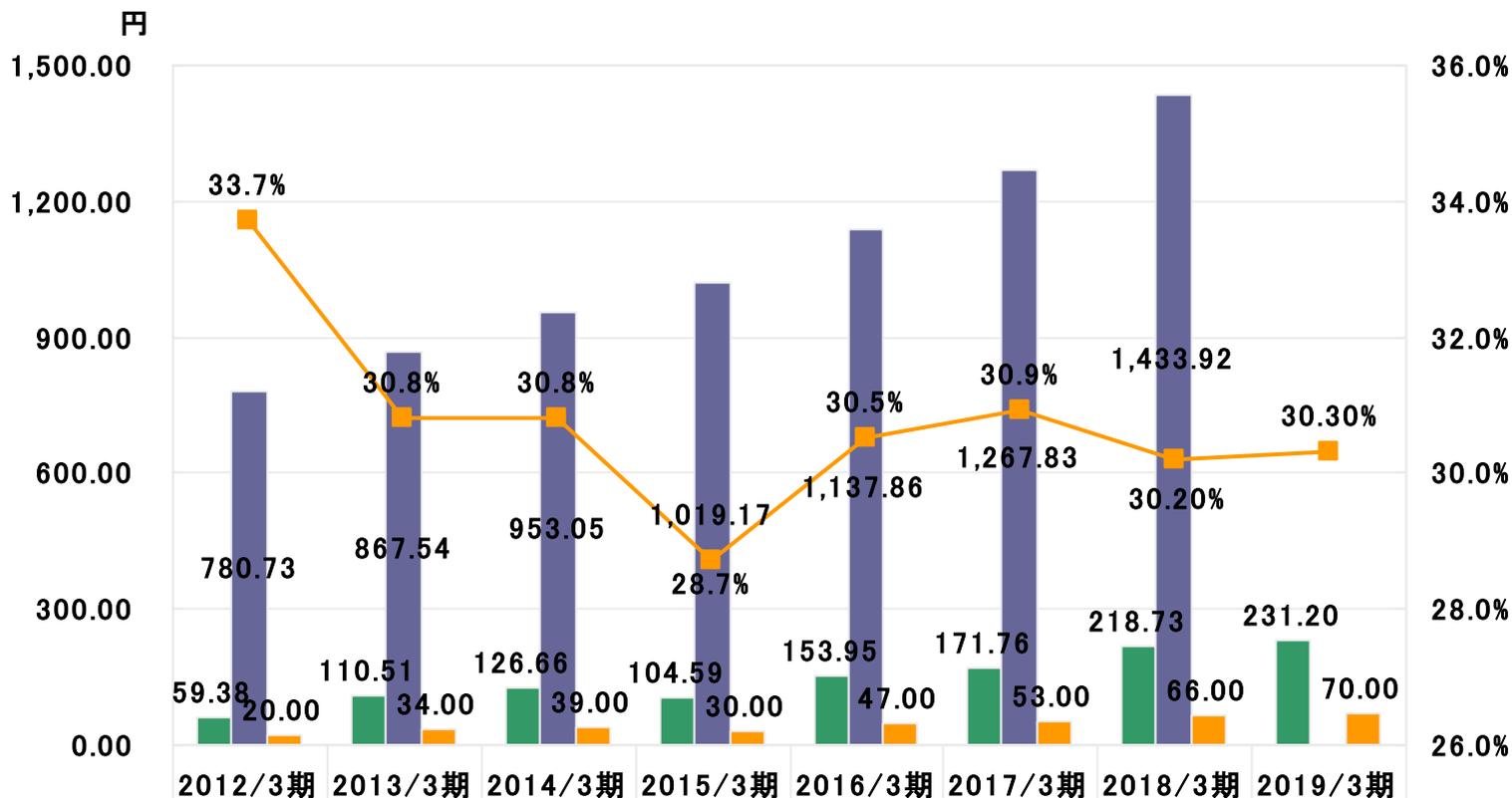
過去最高業績を3期連続で更新。オートバックス、業務スーパーが順調に推移

(単位：百万円)

	2018年3月期	前期比 増減率	2019年3月期 通期予想	2018年3月期比 増減率
売上高	119,816	8.6%	130,000	8.5%
営業利益	4,324	11.0%	5,000	15.6%
経常利益	4,568	12.5%	5,500	20.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,648	27.3%	2,800	5.7%

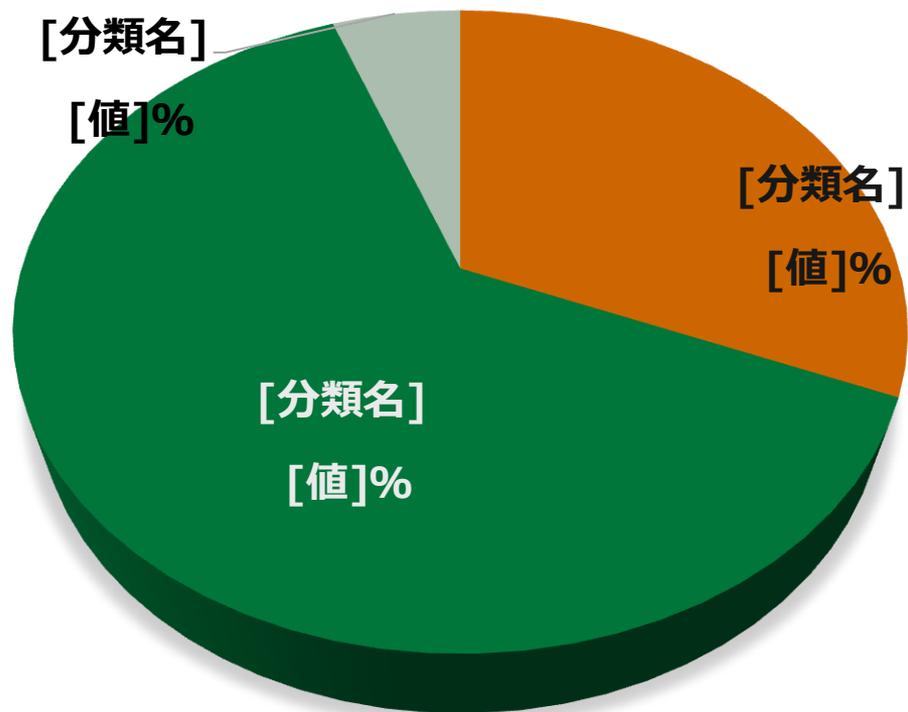
# 配当について

2018年3月期は、中間配当を25.00円、期末配当を41.00円(普通配当25円、特別配当16円)合計66.00円となりました。



1株当り当期純利益(円)	59.38	110.51	126.66	104.59	153.95	171.76	218.73	231.20
1株当り純資産(円)	780.73	867.54	953.05	1,019.17	1,137.86	1,267.83	1,433.92	
1株当り配当金(円)	20.00	34.00	39.00	30.00	47.00	53.00	66.00	70.00
配当性向(%)	33.7%	30.8%	30.8%	28.7%	30.5%	30.9%	30.20%	30.30%

注) 2012/3月期は特別配当6.00円、2013/3月期は特別配当18.00円、2014/3月期は特別配当15.00円、2016/3月期は特別配当13円、2017/3月期は特別配当13円を含む。



売上高	
オートバックス・車関連事業	37,446百万円
業務スーパー・こだわり食品事業	75,632百万円
その他	6,737百万円

(単位：百万円、店舗数)

	通期実績	前期	増減率
売上高	37,446	34,010	10.1%
営業利益	1,651	1,206	36.8%
店舗数	92	90	+2

※店舗数、オートバックス・車関連・バイクワールド含む



←オートバックス東福知山店  
2017/11/1譲受

バイク王とのコラボ  
(名古屋みなと店)



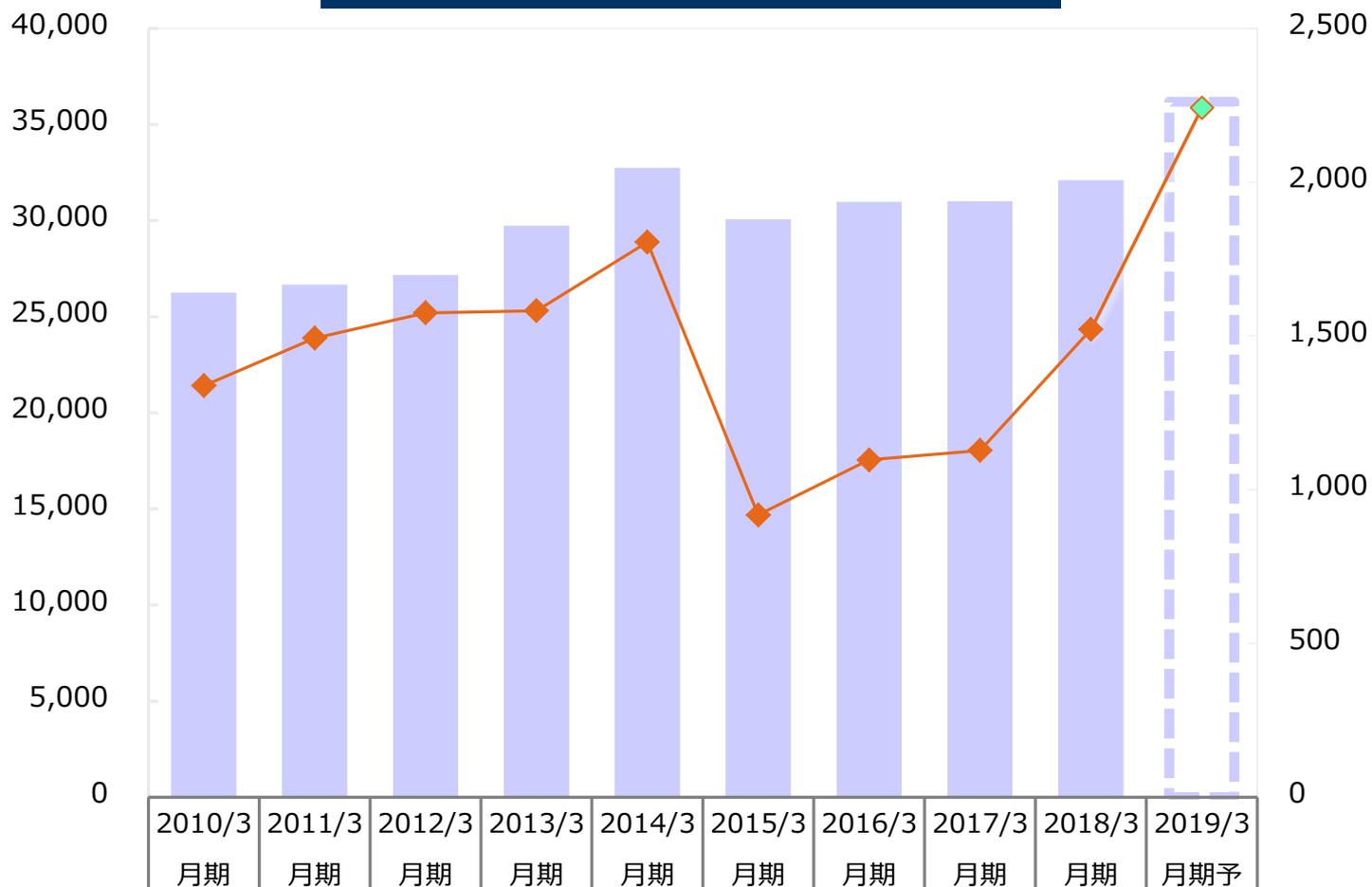
### 概況

- タイヤが2017年6月の一斉値上げに伴う駆け込み需要や冬季の降雪による冬用タイヤの伸長により、G-7・オート・サービスの売上高は前期比3.5%増、営業利益は同33.0%。増益に大きく寄与。
- オートバックス主要カテゴリー別売上高状況（前年同期比）  
 タイヤ：112.0% オイル：101.7% バッテリー：103.9% カーAV：101.9% 車検台数：101.5%
- カーエレクトロニクス部門では、ドライブレコーダーのヒットが増収に貢献。
- オートバックス2店舗（兵庫県、京都府）を他F C法人より譲り受け、関西エリアの販売力強化につながった。（2017年11月1日）
- G-7バイクワールドは資本提携しているバイク王とのコラボ店舗の展開を開始（12店舗中8店舗）。納車整備・車検を強化

# G-7・オート・サービス（オートボックス）の業績 株式会社 G-7 ホールディングス

(単位：百万円)

G-7・オート・サービスの売上高と営業利益の推移



オートボックス事業売上	26,246	26,673	27,171	29,744	32,752	30,074	30,978	31,012	32,108	36,187
オートボックス事業営業利益	1,338	1,493	1,575	1,582	1,805	918	1,097	1,128	1,521	2,242

(単位：百万円、店舗数)

	通期実績	前期	増減率
売上高	75,632	70,232	7.7%
営業利益	2,651	2,413	9.9%
店舗数	239	222	+17



←業務スーパー厚別西店  
2017/12/14オープン

テラバヤシ厚別西店→  
2017/12/14オープン



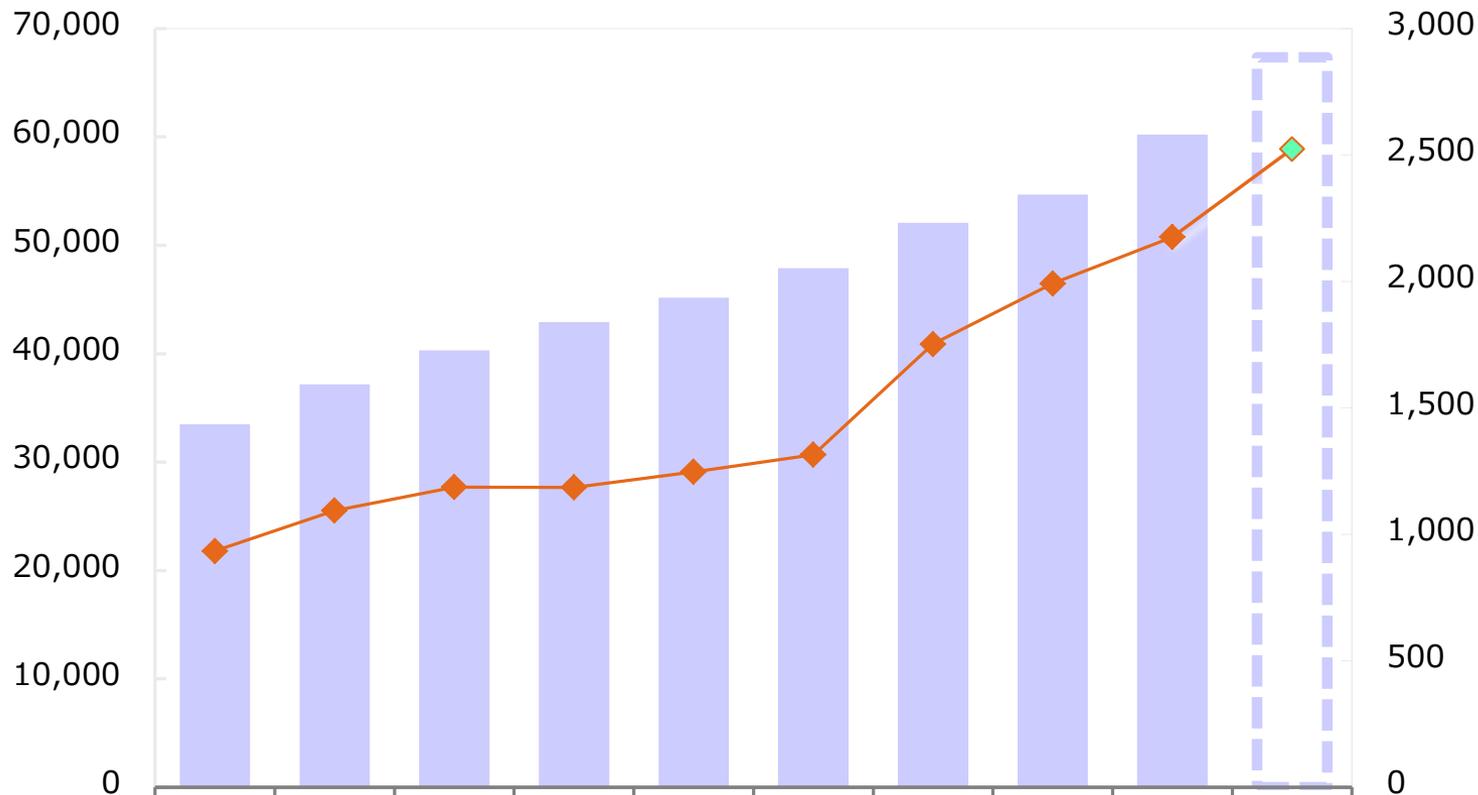
## 概況

- G-7スーパーマートの売上高は前期比7.6%増、営業利益は同5.7%増。
- 売上高、営業利益ともに過去最高を更新。
- 新規出店した店舗がいずれも順調に進捗。
- 2017年5月1日 川瀬食品(株)の株式取得(子会社化) 兵庫県内に地域密着型小型スーパーを4店舗展開→内、2店舗を業務スーパーとして運営を開始する。(テラバヤシ、めぐみの郷をテナントとして誘致)
- G-7ミートテラバヤシの売上高は前期比11.0%増、営業利益は同17.0%増と好調に推移。業務スーパーとの同時出店等により店舗数が前期末比8店舗増の103店舗に拡大したことや、既存店舗での売上げが好業績に寄与。

# G-7スーパーマーケット（業務スーパー）の業績

G-7スーパーマーケットの売上高と営業利益の推移

(単位：百万円)



■ G-7スーパーマーケット売上	33,500	37,168	40,306	42,928	45,170	47,885	52,069	54,698	60,204	67,357
◆ G-7スーパーマーケット営業利益	934	1,094	1,187	1,186	1,247	1,315	1,752	1,992	2,176	2,524

(単位：百万円、店舗数)

	通期実績	前期	増減率
売上高	6,737	6,135	9.8%
営業利益	-108	124	-
店舗数	75	63	+12



←マンマチャオさばえ店  
2018/3/10オープン



Zクロッカンスシューザクザク  
クイオンモール高崎店→  
2017/7/21オープン



## 概況

- 「マンマチャオ」のフランチャイジーとして新たに3店舗出店、期末店舗数は5店舗に。各店舗とも順調に推移。
- チーズタルト専門店「BAKE CHEESE TART」が前期末比1店増の4店舗、たい焼専門店「やまや本舗」が同3店舗増の4店舗にそれぞれ拡大。
- シュークリーム専門店「Zクロッカンスシューザクザク」、カスタードアップルパイ専門店「RINGO」を各1店舗新規出店。
- 海外事業は、収益化までに時間を要するとの判断から、一旦、縮小する方針を決定。

# 2018年3月期 下半期国内店舗の新規出店

株式会社 G-7 ホールディングス

## オートバックス

2017/11/1	オートバックス豊岡店*	兵庫県
2017/11/1	オートバックス東福知山店*	京都府

## 業務スーパー

2017/10/26	業務スーパー博多せんしょう店	福岡県
2017/11/23	業務スーパー草加店	埼玉県
2017/12/14	業務スーパー厚別西店	北海道

## テラバヤシ

2017/11/23	テラバヤシ草加店	埼玉県
2017/12/14	テラバヤシ厚別西店	北海道

## 大型コインランドリーマンマチャオ

2018/3/10	マンマチャオG-7さばえ店	福井県
2018/3/22	マンマチャオ西脇店	兵庫県

## リユース王国

2017/11/25	リユース王国今宿店	兵庫県
------------	-----------	-----

## ステップゴルフ

2017/12/1	ステップゴルフ西橋本店	神奈川県
-----------	-------------	------

\* (株)オートプラスより店舗譲受



業務スーパー草加店



マンマチャオ西脇店



リユース王国今宿店



ステップゴルフ西橋本店 28

## ■ 海外展開戦略について



← オートボックス  
テブラウシティ店  
(マレーシア)

## ● オートボックス事業

- ・ 2017年4～3月売上実績  
クランセントラル店2（2012年オープン）：前年同期比12.5%減  
テブラウシティ店（2013年オープン）：前年同期比19.9%増

## ● バイクワールド事業

- ・ 2017年4～3月売上実績  
クランセントラル店（2014年オープン）：前年同期比23.0%増  
テブラウシティ店（2013年オープン）：前年同期比2.1%減  
バンコク・ナワミン店（2016年オープン）：前年同期比196.8%増



← バイクワールド  
バンコク・ナワミン店  
(タイ)

★ バイクワールド クランセントラル店 通期黒字化達成！



← G-7.クラウン  
レーディング  
横浜ヤード

## ● G-7.CrownTrading(株式会社CrownTradingより社名変更)

- ・ 2017年5月1日株式取得
- ・ 主に東南アジア中東に新車・中古車の輸出販売をおこなっている
- ・ 今期はアフリカからの受注増加も見込まれる

## ● レストラン事業

串かつだるま中山長安店（台湾 2015年12月オープン）  
オープン2年目より売上伸び悩み



S N Sやグルメサイトによる集客を実施→予約増  
ランチタイムのてこ入れで客数UPを図る



串かつだるまランチメニュー



串かつだるま 中山長安店

## ● ミャンマーでの野菜生産

- ・ 2013年11月よりイチゴを苗から生産開始
- ・ 2015年2月からミャンマー国内のシティマート、他スーパーで販売。
- ・ 2015年よりレタス栽培・販売を開始。
- ・ 2018年3月より旧首都ヤンゴンへ出荷開始



ハウスを手作り



出荷前のいちご



レタスの栽培

## ■ 中期経営計画について



### 組織力と人間力の強化

- グループ内の意思統一を図るため、企業間の人・物・金のコラボを強化し、成長させます。命令系統の統一を図り、一人一人の評価基準を明確にして、人間力を高めます

### 新規事業、新業態開発の成長戦略室の新設

- スイーツ事業等の更なる展開、国内外で新規・新業態を展開してまいります

### 創業者塾・NC（ネクストキャビネット）養成塾を開講

- 世代交代を見据えて開講した役員・経営者養成講座にて、創業者・現役員また外部講師を招いて、経営の知識を身につけてもらい、グループの将来を担える人材を養成します。

### M & Aの推進

- 国内・海外での取り組みを強化し、キャッシュフロー内で国内外の投資をします

### 立地開発の強化

- 年間30～40店舗出店できるよう、密な市場調査と投資効率を考慮した出店に取り組みます

### アジア・アセアン地域における海外事業の強化

- 東南アジアからの人材確保。現地学校法人と契約し、学生を技能実習生として受け入れを進めます
- 既存事業の拡大に努めます

### 人材の確保

- シニア（60～80歳）や女性の採用を強化します 従来の定時勤務にとらわれず、自由な勤務時間を選択できる働き方の採用に挑戦します



# G7ブルーレッズ神戸

人材確保の一環として、福利厚生を充実させます



2017年8月1日

神戸総合運動公園サブ球場命名件取得  
新名称「G7スタジアム神戸」

元メジャー  
リーガー



2018年4月1日

軟式野球部発足 監督：マック鈴木氏

全日本軟式野球連名兵庫支部神戸軟式野球協会に加盟



2018年春

入部を希望する新卒のエントリー

## ■ スポンサーードについて



G-7グループは、  
ヴィッセル神戸を  
応援しています。



**ARTA**  
AUTOBACS RACING TEAM AGURI  
Project

**GAZOO Racing**  
86/BRZ Race

**Netz Cup**  
**Vitz Race**

(株)G-7・オート・サービス  
**大西 隆生**



## お問い合わせ

株式会社 G-7 ホールディングス  
IR担当 井手 かおる

TEL : 078-797-7701

E-mail kaoru.ide@g-7holdings.co.jp

本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。  
様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

